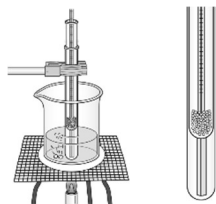


めあて

<実験方法> 液本⇄固本 の状態変化 教科書P112～

1. パルミチン酸をかりとり、試験管に入れる。
(教科書では メントール を使用している。)
2. 装置を組み立てて加熱し、パルミチン酸の温度を測定する。
3. 30秒ごとに温度を記録し、70℃くらいになったら加熱をやめる。
4. 装置から外し、温度が下がっていくときの変化を記録する。
5. 結果をグラフにまとめ、考察を行う。

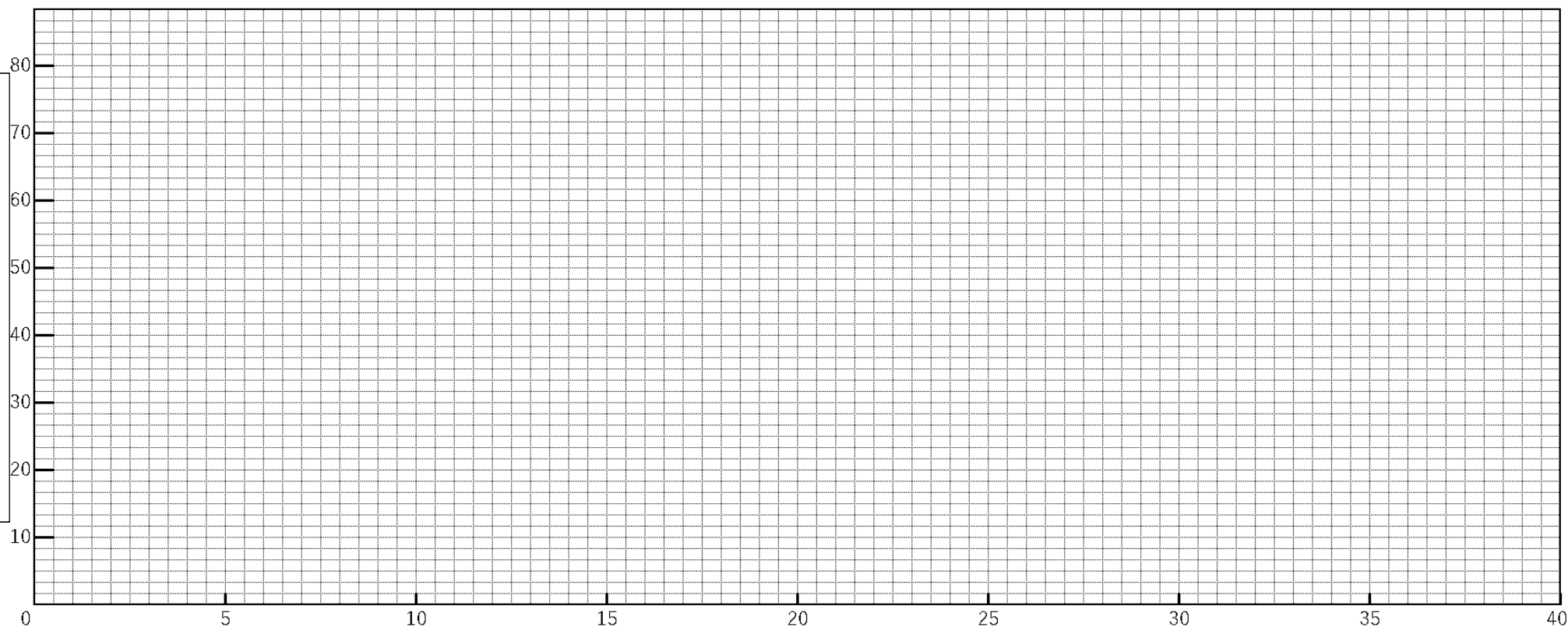


*POINT

1. 固本の物質が液本になるときの温度を 融点 という。
(水の融点は 0℃、パルミチン酸の融点は 63℃)
2. 液本が沸騰するときの温度を 沸点 という。
(水の沸点は 100℃、パルミチン酸の沸点は 351℃)

●ふりかえり 今日の授業でわかったこと

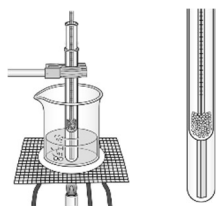
<結果・考察>

パ
ル
ミ
チ
ン
酸
の
温
度
($^{\circ}\text{C}$)

めあて

<実験方法> 液体⇔固体 の状態変化 教科書P112～

1. パルミチン酸をかりとり、試験管に入れる。
(教科書では メントール を使用している。)
2. 装置を組み立てて加熱し、パルミチン酸の温度を測定する。
3. 30秒ごとに温度を記録し、70℃くらいになったら加熱をやめる。
4. 装置から外し、温度が下がっていくときの変化を記録する。
5. 結果をグラフにまとめ、考察を行う。



*POINT

●ふりかえり 今日の授業でわかったこと

<結 果・考 察>

